

海況速報

平成元年度 第1号 (No. 7)

平成1年 5月 8日

北海道立水産試験場

4月の海況

観測時期がずれたりして取りまとめが大変遅くなりましたが、4月の定期海洋観測結果の概要をお知らせします。参考資料ですが、表層流況図も今まで同様付けました。

[日本海域]

表面水温は、道北海域では4～6℃、道央海域では5～7℃、道南海域では7～9℃を示していました。8℃の等温線が茂津多岬沖まで北上しています。下旬に入って、青森沖では10℃台の暖水の北上もみられてきました。

中・下層では、奥尻周辺～松前沿岸にかけて低温域となっているのが特徴的でした。

昨年と同時期と比較すると、表層水温は、道北海域では若干高めですが、ほかではほぼ昨年並です。中・下層水温は、全般に道南海域で昨年より高めとなっています。

[オホーツク海域]

沿岸域の表層水温は、枝幸～湧別沖付近では4℃台まで昇温していました。しかし、ほかではまだ冷たく、大部分の海域は0℃前後で、沖合域ではマイナス水温を示しているところがまだかなり広く分布しています。宗谷沿岸域では3月よりさらに低くなっていました。

中層でも沿岸域ではまだマイナス水温を示しているところがみられています(紋別沖)。

昨年と比較すると、表層水温は特に宗谷沿岸域でかなり低めとなっていますが、沖合域はほぼ昨年並です。

[道東太平洋海域]

道東沿岸域の表面水温は2℃前後、中・下層では0～1℃を示していました。沖合域では表・中層とも3～4℃台を示しています。

全般に沿岸域では表層～下層まで昨年よりかなり暖かくなっていましたが、沖合域では、昨年みられたような暖水塊は認められません。

[道南太平洋海域]

津軽海峡東口の南側では8℃台の暖水(津軽暖流水)がみられています。しかし、日高沖の表面水温は2℃台、噴火湾沖では3～4℃台で、親潮系水におおわれています。しかし、日高沖の中・下層には小さな暖水塊?(50m層:4℃、100m層:7℃)がみられていたのが特徴的でした。

なお、余市での4月の沿岸水温は、各旬とも平年比±0.5℃以内で、依然平年並に経過しています。

資 料

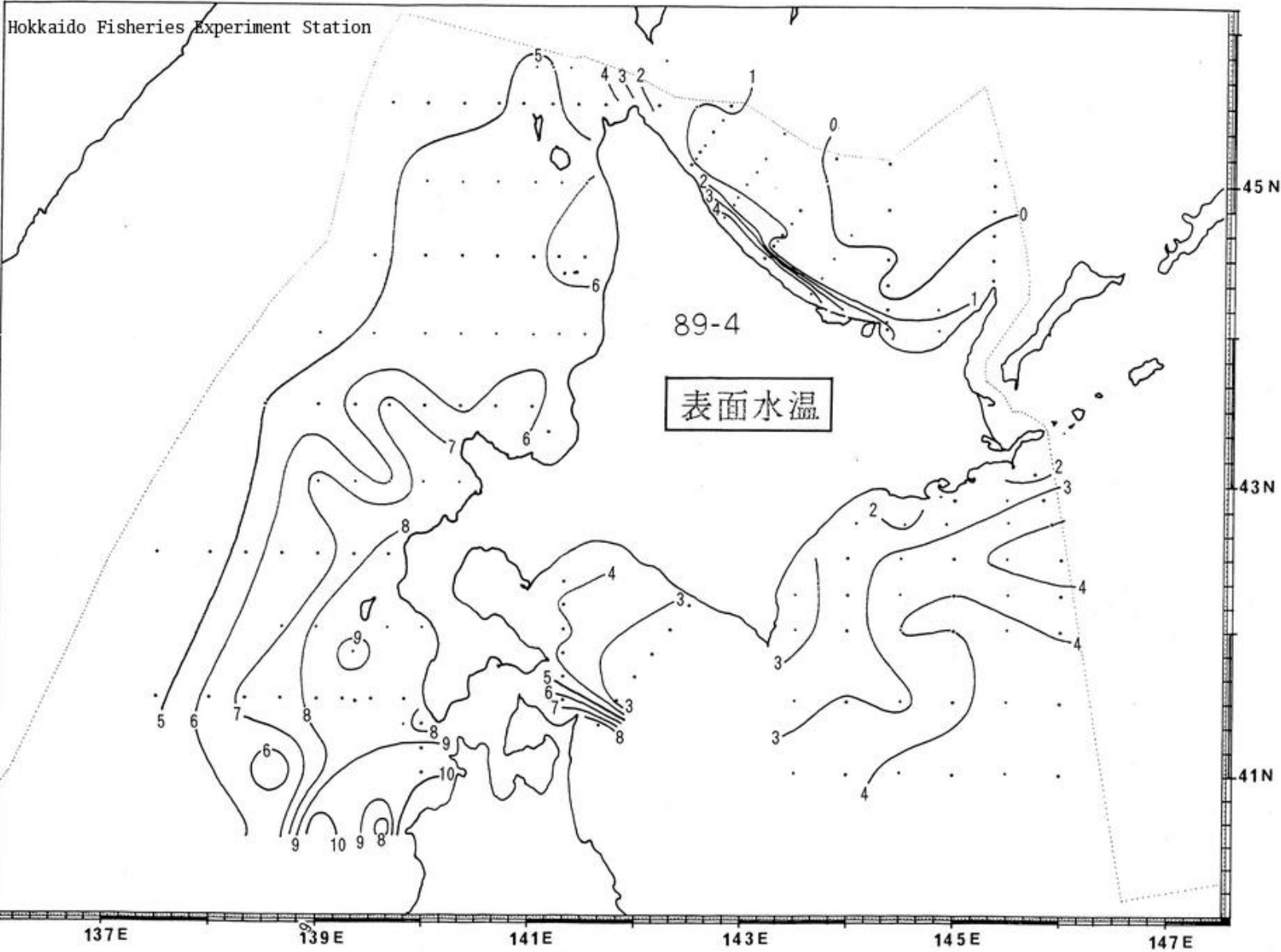
稚内水試(北 洋 丸)	4. 10-12 (オホーツク海域)
・	4. 19-21 (道北日本海域)
釧路水試(北 浜 丸)	4. 17-22 (道東太平洋海域)
函館水試(金 星 丸)	4. 7-11 (道南 〃)
中央水試(おやしお丸)	4. 7-11 (道央～道南日本海域)

以上の定期観測のほか、青森水試(東奥丸)、4. 26-27の観測資料を使用させてもらいました。

Hokkaido Fisheries Experiment Station

89-4

表面水温



137 E

139 E

141 E

143 E

145 E

147 E

45 N

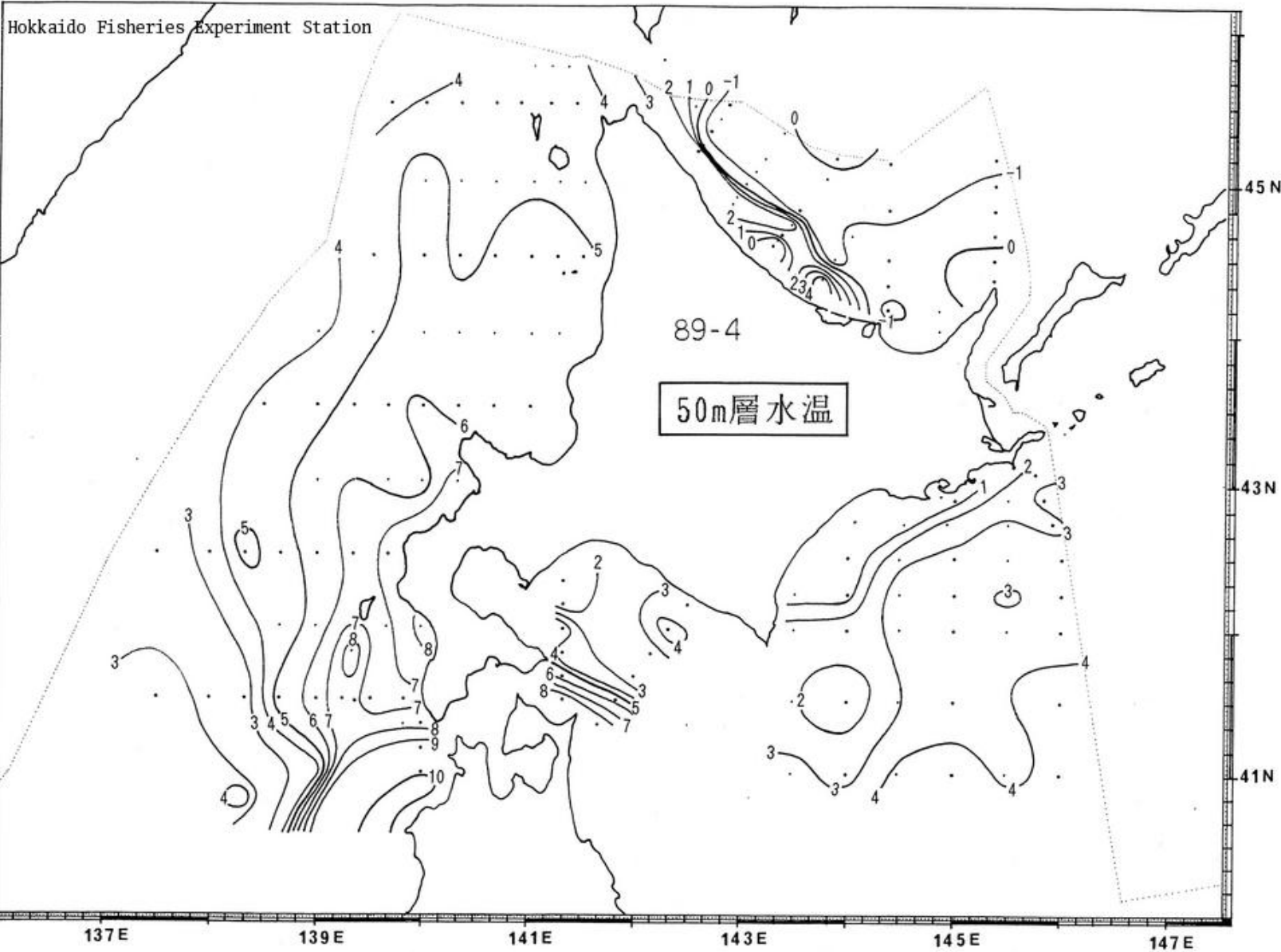
43 N

41 N

Hokkaido Fisheries Experiment Station

89-4

50m層水温



Hokkaido Fisheries Experiment Station

89-4

100m層水温

